

走行する蒸気機関車「SL大樹」を8Kカムコーダーで撮影し、車内に設置した8K液晶テレビへ伝送  
**第5世代移動体通信方式(5G)による高精細8K映像のライブ伝送に成功**

シャープは、株式会社NTTドコモ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：吉澤 和弘、以下、ドコモ)および東武鉄道株式会社(本社：東京都墨田区、取締役社長：根津 嘉澄、以下、東武鉄道)と連携し、第5世代移動体通信方式(以下、5G)により8Kの高精細映像をライブ伝送する実証試験<sup>※1</sup>に成功しました。

本実証試験は、11月12日(月)および16日(金)に、栃木県日光市にて東武鉄道が運行する蒸気機関車「SL大樹」を使用して行いました<sup>※2</sup>。走行する「SL大樹」を当社製8Kカムコーダー<8C-B60A>で撮影し、映像を線路脇に設置した基地局から5G無線で送信。SL車内に設置した当社製8K対応液晶テレビ<8T-C60AW1>へライブ伝送しました。基地局を3局配置した28GHz帯と1局配置した4.5GHz帯の二通りの周波数帯で試験を実施し、いずれも成功しました。また、28GHz帯の試験では、走行位置により接続する基地局が切り替わっても、8K映像が途切れずに表示されることも確認しました。

移動環境における大容量の8K映像データの5Gによるライブ伝送が実証されたことで、観光分野などでの新たなサービスへの応用が期待できます。シャープは、5Gを活用した8K映像伝送の実用化に向けて、今後も様々な実証試験を推進してまいります。

■ 実証試験の概要

実施日	2018年11月12日(月)および16日(金)
場所	栃木県日光市 東武鬼怒川線 新高徳駅付近 鬼怒川にかかる橋梁上
使用周波数	28GHz帯/4.5GHz帯
配信プロトコル	HLS(HTTP Live Streaming)
使用機器 (当社製品)	8Kカムコーダー<8C-B60A> 8K対応液晶テレビ<8T-C60AW1>

\* その他、8K映像エンコーダー、デコーダーなどを当社より提供



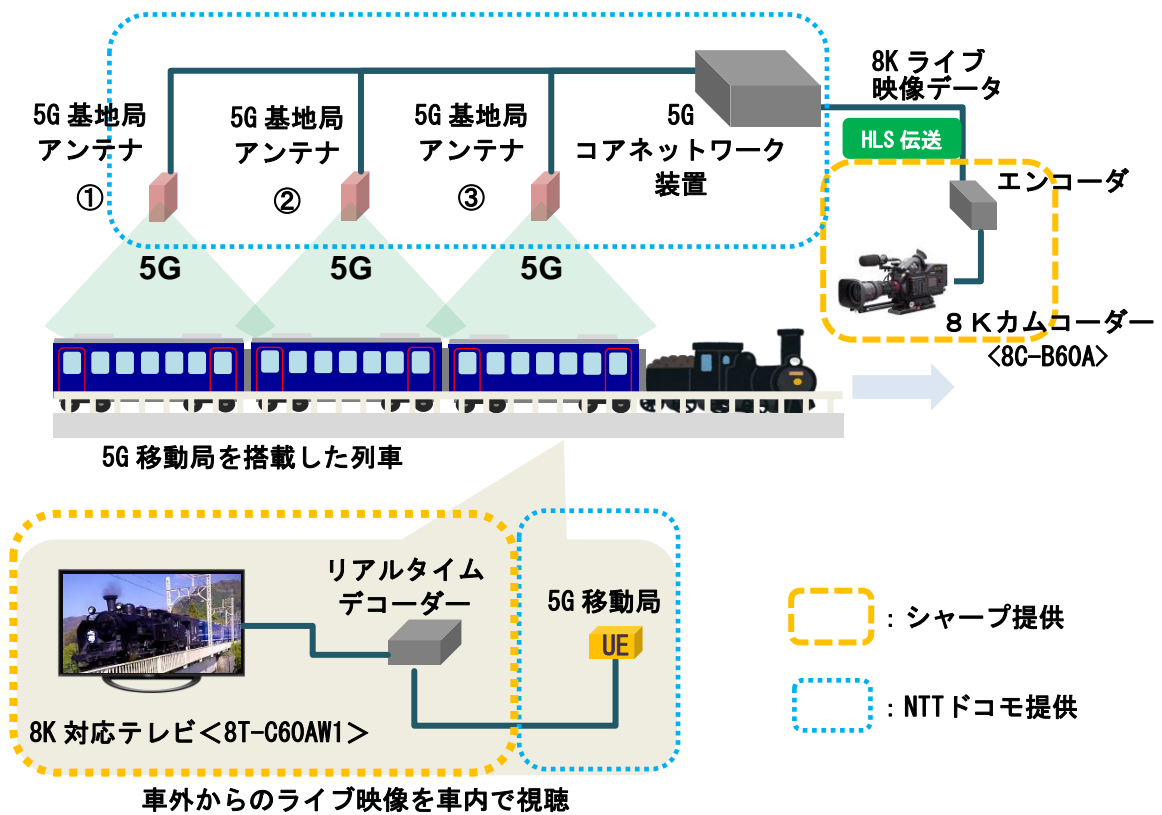
<走行列車での試験風景(線路脇での撮影)>



<走行列車での試験風景(車内での8K映像表示)>

※1 本実証試験は、NTTドコモが実施主体として総務省より受託した、平成30年度5G総合実証試験「屋外において平均4-8Gbpsの超高速通信を可能とする第5世代移動通信システムの技術的条件等に関する調査検討の請負」の一部として実施しました。  
 ※2 11月16日(金)の実証試験は、SL車両のメンテナンスにより、ディーゼル機関車が客車を牽引する「DL大樹」にて実施しました。

■ 実証試験構成イメージ(28GHz帯の場合)



本実証試験に関する画像は、以下のウェブサイトからダウンロードいただけます。  
 シャーププレスネットフォトサービス (<http://www.sharp.co.jp/press/>)